

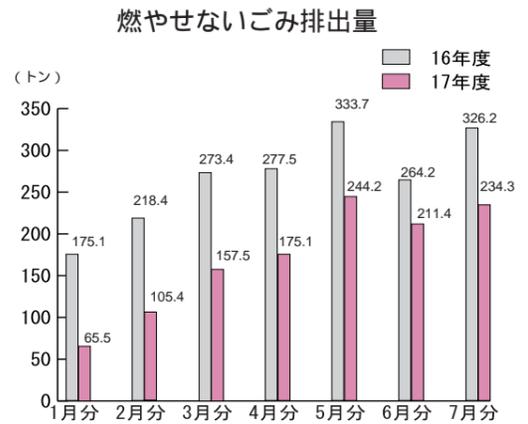
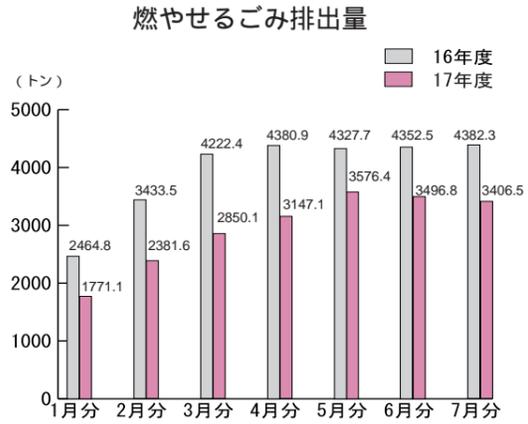
市政通信

ごみ有料化制度で進むごみの減量化

ことし1月にスタートした本市のごみ有料化制度が、市民の間で次第に定着し、ごみの減量化が進んでいます。今回は、その状況と新無料ごみ処理券についてお知らせします。

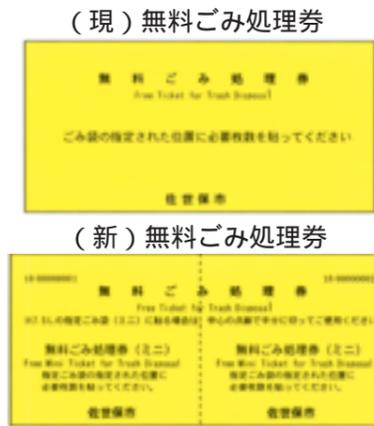
進むごみの減量化

ことし1月にスタートした本市のごみ有料化制度は、指定ごみ袋とごみ処理券(シール)を併用した、本市独自の方式です。
これは、毎年12月に市が配布する1年分の無料ごみ処理券の範囲内



無料ごみ処理券が変わります

ごみ有料化制度に対しては、市民の皆さんからさまざまなご意見・ご要望が寄せられました。
そのご意見を基に、来年からは無料ごみ処理券を、半分に分けてミニ処理券として使える様式に変更します。



新しい「無料ごみ処理券」は中心部のミシン目で半分に切り離す(手で簡単に切り離せます)と、「無料

ごみ処理券(ミニ)として使用することが出来ます(有料ごみ処理券については変更ありません)。
昨年は、単身世帯にミニ券を配布しましたが、ことしからは全世帯に新しい様式の無料ごみ処理券を配布します。なお、繰り越す現在の処理券は従来通り使用できます。

本市のごみ有料化制度は「ごみを減らすと努力した人が報われる制度」です。今後ともごみの減量化、再資源化(リサイクル)、再利用(リユース)にご協力ください。

お尋ね
市廃棄物・リサイクル対策課
(☎2428)



11月9日～15日は 秋の全国火災予防運動期間です

これからの季節は空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。火災による死者の減少や財産の損失を防ぐために、火災予防を心掛けましょう。

ことしの全国統一標語

「あなたです 火のある暮らしの 見はり役」

重点目標

- 一、住宅防火対策の推進
- 二、放火火災・連続放火火災予防対策の推進
- 三、震災時における出火防止対策等の推進

佐世保市の火災発生状況

(平成17年1月～9月)

火災発生件数	78件	前年比
死者	0人	前年比
負傷者	6人	前年比
生件数	15件増	前年比

火災発生件数78件のうち、建物火災が総出火件数のおよそ6割を占め、

その中でも住宅火災が大きな割合を占めています。
原因別では、こんろ(18件)、たばこ(11件)、火遊び(6件)が上位を占めています。

消防局では、特に住宅火災の発生と住宅火災による死者の減少を目指して、予防運動を行っています。
地域での呼び掛けも火災を減らす大きな力です。地域の輪を大切にしましょう。

防火教室

消防局では、住宅火災を1件でも少なくしようと、職員が出向いて防火講話や防火映画の上映、消火訓練などを行ったり、火災予防に関する防火ビデオの貸し出しも行っていきます。町内会や自治会単位などでお申し込みください。

申し込み

消防局予防課 (☎29256)
中央消防署 (☎5121)

不用になった消火器の処分

家庭で不用になった消火器は、燃やせないごみとしては出せません。消火器を処分するときは、買い替えるときに業者に引き取ってもらう
最寄りの消防設備専門業者に問い合わせて、引き取ってもらう

東消防署 (☎2519)
西消防署 (☎2076)

危険ですから消火器の分解や解体は絶対しないでください



お尋ね
消防局予防課 (☎29256)

動き始めました！新生佐世保市

合併地域の行事のご紹介 (吉井地区編)



毎年、12月10日に行われる「お蔵入れ」は「霜月祭り」、「おかん祭り」とも呼ばれ、古くから吉井地区に伝わるお祭りとして知られています。

お蔵入れは、この地区の通称「ミズノモト(水源地)」の氏神・吉田大明神の拜殿で神事が済んだ後、その年の当番のヤド(施主の家)で行われます。

五穀豊穡、家内安全を祈り、それが成し遂げられたことを祝う収穫儀礼のお祭りです。素朴でほのぼのとした雰囲気の中にユーモアのあるお祭り、無形民俗文化財として国の選択を受けています。

冬の訪れを伝えるお蔵入れが終わると、地元では冬本番を迎えるといわれています。

お尋ね 市役所合併地域行政課(☎24-1111)